DX BROADTEC

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。

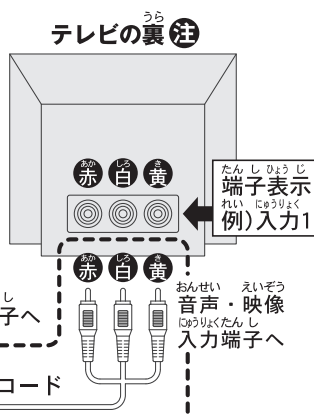
DIGITAL

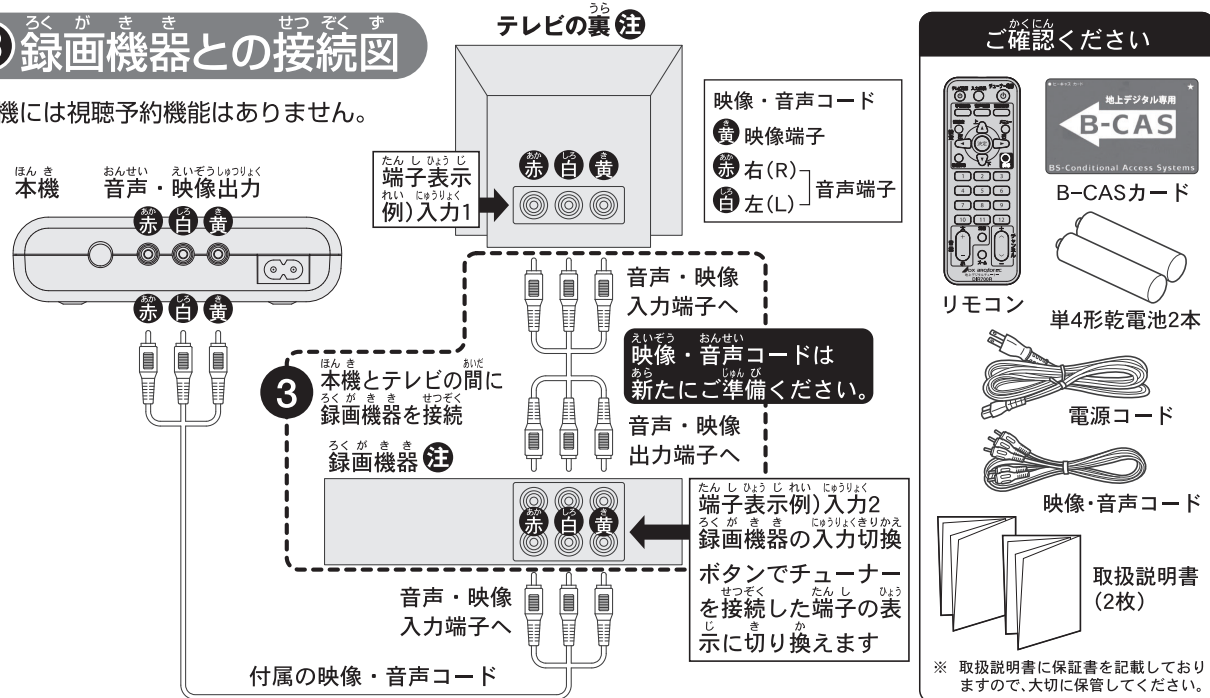
地上デジタルチューナー DIR910《準備編》

地上デジタル放送を見るまでの準備です。テレビを見るときはうら側をご覧ください。

1 アンテナ・テレビをつなぐ

❶アンテナとの接続図　❷テレビとの接続図

注 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

❸録画機器との接続図

本機には視聴予約機能はありません。

モノラル機器を接続する場合は、映像・音声コードの映像端子（黄色）と音声端子（白色）を接続します。

注接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

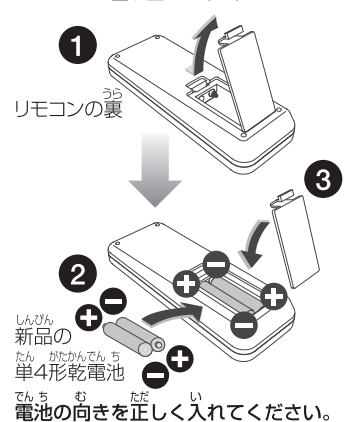
リモコンの準備

〈電池を入れる〉

❶ リモコンの裏

❷ 新品の単4形乾電池

❸

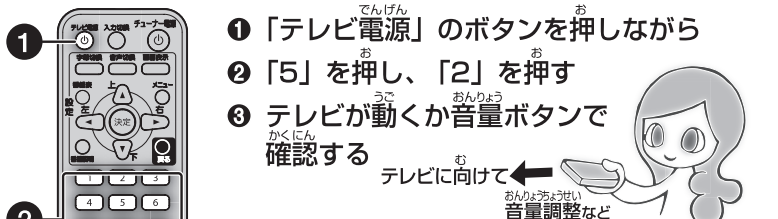
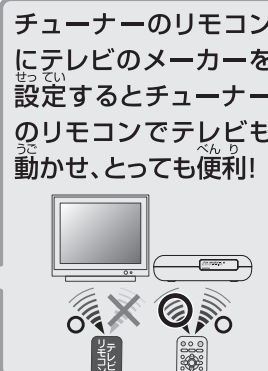
電池の向きを正しく入れてください。

〈リモコンでテレビ操作（電源・音量・消音）ができる設定〉

設定例 DXブロードテック（番号52）を設定する場合

❶「テレビ電源」のボタンを押しながら

❷「5」を押し、「2」を押す

❸ テレビが動くか音量ボタンで確認する

テレビに向けて　音量調整など

（注）リモコン番号を入力するときは、「11」「12」ボタンは使えません。「10」ボタンは0として機能します。（パナソニックの番号01なら「10」「1」、ソニーの番号11なら「1」「1」）

〈リモコン設定番号表〉

テレビメーカー	番号	テレビメーカー	番号	テレビメーカー	番号
DXブロードテック	52/53/54	三洋	09/10/46	サムスン	18/19/20/21/22
パナソニック	01/02	ソニー	11/50	FUNAI	23/24/25/26/27/28
シャープ	03/04/47	NEC	12/51	東芝	29/30/31
三菱	05/06	富士通ゼネラル	13/48/49	LG	32/33/34/35/36/37/38
ビクター	07/44/45	パイオニア	14	PHILIPS	39/40/41
日立	08	アイワ	15/16/17	オリオン	42/43

※2つ以上の番号があるテレビメーカーは、「52」がだめなら「53」と順にテレビが動作する番号をさがしながら設定してください。テレビによっては操作できない場合があります。

チューナーのリモコンにテレビのメーカーを設定するとチューナーのリモコンでテレビも動かせ、とっても便利!

〈リモコンボタンの割当の変更 — 4 お住まいの地域を選ぶの操作完了後に設定します—〉

❶ リモコンの（メニュー）を押す

❷ ▽△を押して「リモコンの詳細設定」を選び

❸ （決定）を押す

❹ ▽△で変更したいボタンの数字を選びます（画面上の、6の欄で▽を押すと7〜12が表示）

❺ ◁▷で割当チャンネルを変更します

❻ 変更後に（決定）を押すと確定します（変更内容を確定する前に（戻る）を押すと変更する前の状態になります）

【メニュー画面】

リモコンの詳細設定を選択する

【リモコンボタンの編集画面】

選択されている欄

1 ◀ 011 NHK総合1・東京 ▶

リモコンの数字ボタン　チャンネル番号（放送局の番号）　放送局名

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記をご利用ください。

カスタマーセンター TEL.(078)682-0455
受付時間 9:30〜12:00/13:00〜17:00（土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く）

ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

・札幌支店 TEL.(011)822-1251㈹	・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100㈹	・金沢支店 TEL.(076)261-9988㈹	・高松営業所 TEL.(087)868-1222㈹
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830㈹	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166㈹	・富山営業所 TEL.(076)422-7878㈹	・松山営業所 TEL.(089)925-3826㈹
・東北支店 TEL.(022)243-2141㈹	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341㈹	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651㈹	・福岡支店 TEL.(092)541-0168㈹
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581㈹	・千葉支店 TEL.(043)253-1121㈹	・堺営業所 TEL.(072)278-5311㈹	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556㈹
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131㈹	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141㈹	・京都営業所 TEL.(075)382-6141㈹	・長崎出張所 TEL.(095)842-0780㈹
・東京支店 TEL.(03)3526-5402㈹	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885㈹	・神戸支店 TEL.(078)579-8550㈹	・大分営業所 TEL.(097)504-7799㈹
・東京東出張所 TEL.(03)5654-9881㈹	・中部支店 TEL.(052)919-6531㈹	・姫路営業所 TEL.(079)283-5920㈹	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711㈹
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911㈹	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801㈹	・広島支店 TEL.(082)237-5331㈹	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211㈹
・横浜支店 TEL.(045)651-2557㈹	・豊橋営業所 TEL.(0532)57-2133㈹	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948㈹	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202㈹
・北関東支店 TEL.(048)652-3311㈹	・三重出張所 TEL.(059)226-1643㈹	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343㈹	

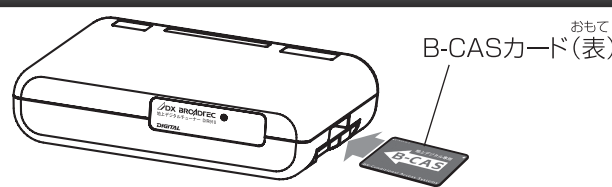
DXアンテナ株式会社

（2010年9月現在）

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL.(03)3526-6327(代)

4496-3

2 B-CASカードを入れる

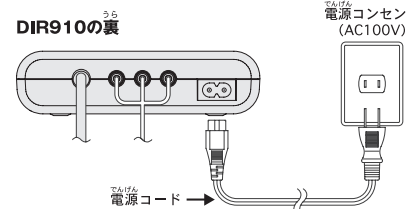
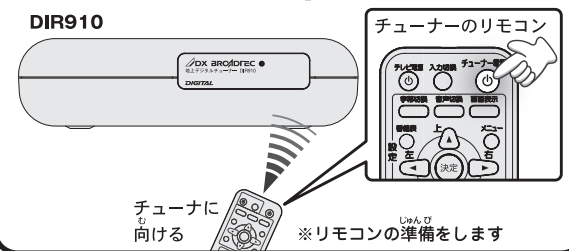
付属のB-CAS カードを絵と同じように本体横に、先端が当って止まるまで入れます。

●B-CASカードの表と裏・入れる方向をまちがえると地デジ放送を見ることができません。

●ご使用中はB-CASカードを出し入れしないでください。

3 電源を入れる

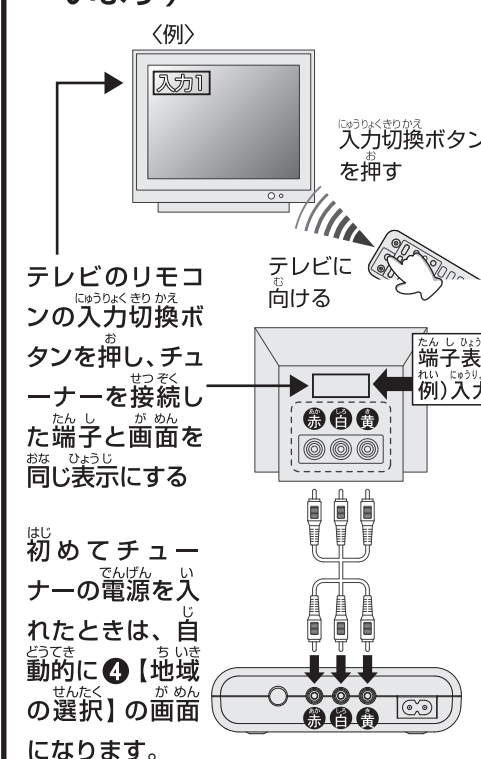
❶付属の電源コードでチューナーと電源コンセントをつなぐ

❷チューナーの電源を入れる

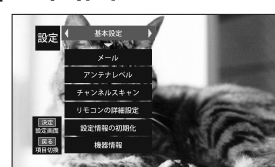
チューナーのリモコン

※リモコンの準備をします

❸テレビの電源を入れ、画面を切り換える（入力2、ビデオ1などテレビによってちがいます）

テレビのリモコンの入力切換ボタンを押し、チューナーを接続した端子と画面を同じ表示にする

初めてチューナーの電源を入れたときは、自動的に❹【地域の選択】の画面になります。

4 お住まいの地域を選ぶ

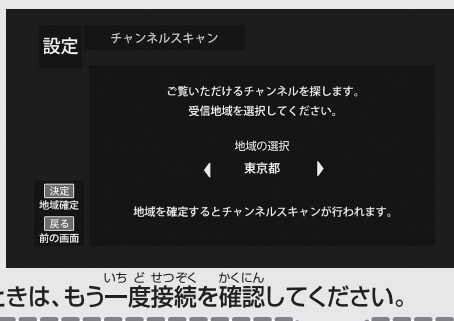
※引越しなどでお住まいの地域が変わったとき、お住まいの地域で放送局の開局・変更があったときなどに行なってください。

❶リモコンの（メニュー）を押す

❷【設定】の画面がでます

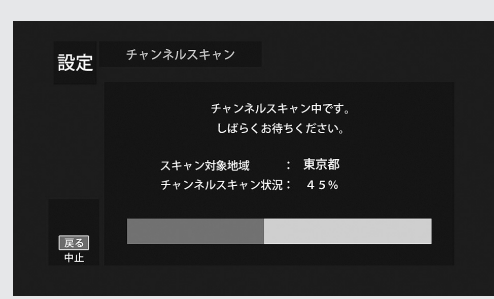
❸▽△を押して「チャンネルスキャン」を選び（決定）を押す

❹【地域の選択】の画面がでます

※リモコンの準備をしていないときは、リモコンに電池を入れてください。

この画面が表示されないときは、もう一度接続を確認してください。

❺ ◁▷を押してお住まいの地域を選び（決定）を押す

❻【チャンネルスキャン中】の画面がでます

受信できるチャンネルを探しています。

❼しばらく待つと【リモコンの詳細設定】の画面がでます

選択した欄の色で表示されます（他とは別）

リモコンの数字ボタン　チャンネル番号（放送局の番号）　放送局名

❽（決定）を押す

❾（戻る）を2回押すと、テレビ放送画面になります。

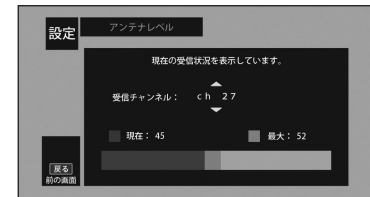
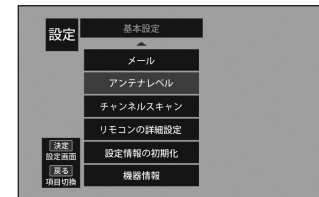
※❼の画面でリモコンの数字ボタンに割当てられたチャンネルを変更することができます。詳しくは左側の「リモコンの準備」をご覧ください。

〈アンテナレベルの表示〉

アンテナの方向調整をするときの目安にしてください。

❶ リモコンの（メニュー）を押す

❷ ◁▷で「基本設定」を選び、▽△で「アンテナレベル」を選び（決定）を押す

❸ ◁▷で確認するチャンネルを選ぶ

目安となるアンテナレベルは50〜80です。アンテナの向きや高さを変えたり、アンテナとチューナーの間にブースター等の機器を接続して、範囲内になるように調整します。詳しくはお近くの販売店にご相談ください。

※アンテナレベルは、アンテナの方向調整を目的にした信号品質を表すもので、電波の強さを表すものではありません。

➡うら側へ

DX BROADTEC

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。

DIGITAL

地上デジタルチューナー DIR910《操作編》

DXアンテナ製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書（操作編）（準備編）と別紙の取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

1 テレビ（地デジ）を見る 1 2 3 4の順で

テレビの操作

1 テレビの電源を入れる （注）

2 テレビの画面を切り換える（入力2、ビデオ1などテレビによってちがいます）

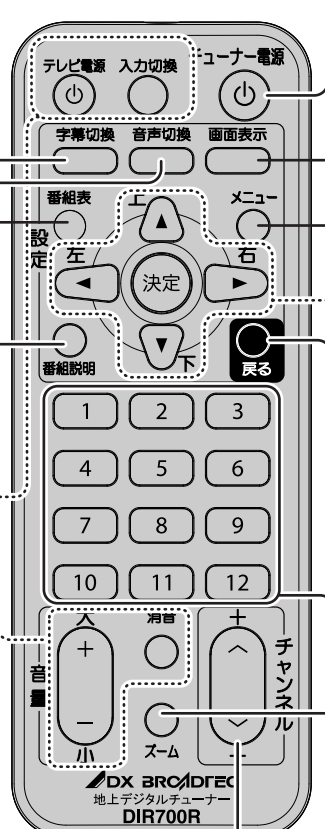
チューナーの操作

3 チューナーの電源を入れる（リモコンの チューナー電源 を押す）

字幕切換
字幕の表示/非表示を切換える。

音声切換
複数の音声がある場合に、音声を切換える。

番組表
番組表を表示する。

番組説明
番組の情報を表示する。もう一度押すと表示が消えて通常のテレビ画面に戻る。

画面表示
ご覧になっているチャンネル番号と番組名を表示する。数秒後に消える。

メニュー
設定画面を表示する。

チューナーの操作
▲▼◀▶決定
設定画面で項目を選ぶなどの操作を行う。選んだ項目を決定する。

前の設定画面に戻る
テレビ放送画面に戻るときは何回か押す

ズーム
ズーム機能を入/切する。

（リモコン：テレビ電源　入力切換　チューナー電源　字幕切換　音声切換　画面表示　番組表　メニュー　設定　上　左　決定　右　下　番組説明　戻る　1〜12　音量　消音　ズーム　チャンネル　DX BROADTEC 地上デジタルチューナー DIR700R）

テレビの操作
テレビに向けて押すとテレビが動作する

＋ 音が大きくなる
－ 音が小さくなる
消音 音が消える
もう一度押すと戻る

（注）テレビによっては設定できない場合があります。
詳しくはうら面「リモコンの準備」をご覧ください。

チューナーの操作

4 チャンネルを選ぶ ➡数字ボタンを押す
➡∧∨ボタンを押す
∧を押すと大きい数に、∨を押すと小さい数にチャンネルがかわる

DIR910の正面

電源表示灯
（ランプの色で区別）

リモコンの チューナー電源 を押したあと、緑色になるまですこしまつ。

チューナーの操作はリモコンをチューナーに向けて

表示灯	状態
消灯	電源コードをつないでいない
緑色／点灯	電源が入り、チューナーが動いている
赤色／点灯	電源が切
橙色／点灯	番組表取り込み中
赤色／点滅	情報取得（ソフトウェアダウンロード）中
橙色／点滅	動作開始／終了中

⚠ 故障の原因となりますので、赤色／点滅の動作情報取得（ソフトウェアダウンロード）中は電源コードを本体／コンセントから抜かないでください。

〈メッセージ一覧〉

本機の状態によっては、メッセージが表示されることがあります。

メッセージ	対処
地上デジタル放送を視聴するためにはメニューよりチャンネルスキャンを行ってください。	地上デジタル放送用のアンテナケーブルを接続してから、メニューよりチャンネルスキャンを行ってください。
信号が受信できません。　（E202）	アンテナからのケーブル及びコネクターの接続を確認してください。
現在放送されていません。　（E203）	チャンネルを変更してください。
このチャンネルはありません。（E204）	チャンネルを変更してください。
B-CAS カードが未挿入です。	B-CAS カードを先端が奥に当って止まるまで確実に挿入してください。
このカードは使用できません。正しいB-CAS カードを装着してください。	B-CAS カード以外のカードが装着されているか、カードIC部の汚れ、破損の可能性があります。正しく装着しても改善されないときは、B-CASカスタマーセンターにご連絡ください。
B-CAS カードを交換してください。	B-CASカードと本体の接触部にゴミが付着しているか、B-CASカードが正しい方向に挿入されていない可能性があります。正しく装着しても改善されないときは、B-CASカスタマーセンターにご連絡ください。
ご覧のチャンネルは契約されていません。	契約されていない番組です。チャンネルを変更してください。
現在、○○○ ch で緊急警報放送を行っております。	緊急警報放送をご覧になる場合は、提示されたチャンネルへ選局してください。

〈メニュー（設定画面）からの設定〉

「設定画面」から各項目の設定を行うことができます。

リモコンの メニュー を押して「設定画面」を表示し、◀ ▶ で「基本設定」と「機器設定」を選択し、▼▲ で設定したい項目を選びます。 決定 を押すとその項目の設定画面に移ります。

〈メニュー一覧〉

メニュー
基本設定　◀ ▶ で選び 決定 を押す　機器設定

基本設定（▲▼で選び 決定 を押す）

項目	設定内容
メール	ソフトウェアダウンロード予定等お知らせの確認
アンテナレベル	アンテナを方向調整するときの目安
チャンネルスキャン	地デジ放送の受信とチャンネル設定
リモコンの詳細設定	リモコンの数字ボタンに放送局を割当
設定情報の初期化	※出荷時の設定に戻します
機器情報	B-CASカード、ソフトウェア情報の確認

機器設定（▲▼で選び 決定 を押す）

項目	設定内容
字幕の設定	オフ/日本語/英語
文字スーパーの設定	オフ/日本語/英語
接続テレビの設定	ノーマル/ワイド

設定内容は画面を見てリモコンのボタンで操作してください。

番組表からチャンネルを選んで見る 1 2 3の順で

1 番組表 を押して番組表を映す

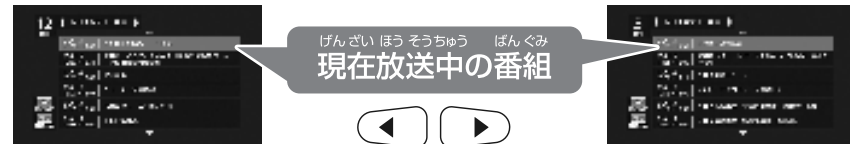
【番組表画面】

※もう一度 番組表 を押すとテレビ放送画面に戻る

「番組情報がありません」が表示されたときは、番組表 か 戻る で画面をテレビ放送に戻して各チャンネルを一度ずつ映してください。その間に番組情報を取り込みます。

2 番組をさがす

数字ボタンを押すとその数字チャンネルの番組表に変わる

◀ ▶ を押すと同じ時間帯のちがうチャンネルの番組表になる

▼▲ を押すと同じチャンネルのちがう時間帯の番組表になる

3 番組を選ぶ

① ◀ ▶ ▼▲ で番組名の色をかえる
② お好みのところで 決定 を押す

③今、放送中の番組（1番上）で 決定 を押す → テレビ放送（選んだ番組）

③ 放送前の番組で 決定 を押す → 選んだ番組の番組説明 → 戻る をくり返し押すとテレビ放送画面（選ぶ前）になる

前の設定画面に戻る　テレビ放送画面に戻るには何回か押す

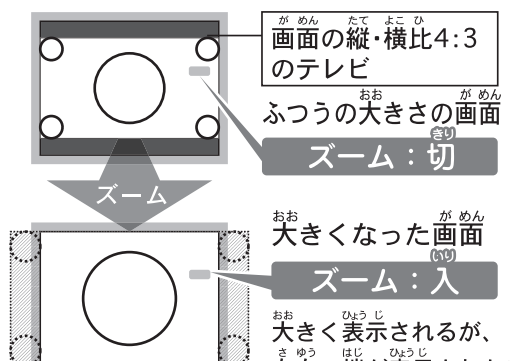
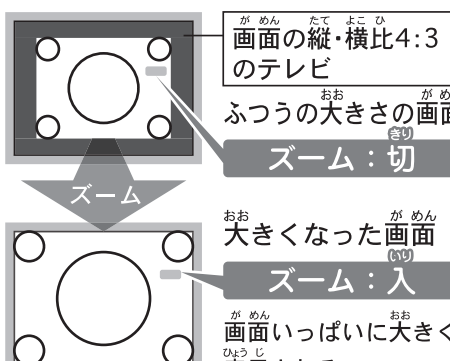
ズーム（画面拡大）機能

1 ズーム を押す

2 画面に「ズーム：入（切）」が表示されている間にもう一度 ズーム を押す

3 画面が切り換わる

画面の縦・横比4:3のテレビ
ふつうの大きさの画面
ズーム：切
大きくなった画面
ズーム：入
画面いっぱいに大きく表示される

画面の縦・横比4:3のテレビ
ふつうの大きさの画面
ズーム：切
大きくなった画面
ズーム：入
大きく表示されるが、左右の端が表示されない

※「ズーム:入（切）」は2〜3秒で消えます。
ズーム を2回押しても画面が変わらないときがあります。（接続テレビの設定が「ワイド」のとき、画面比が4:3の放送、シネマサイズの番組などでは画面いっぱいに拡大されません。）

〈接続テレビの設定〉

画面の横：縦比が16：9のテレビをご使用の際は設定してください。

❶ リモコンの メニュー を押す

❷ ◀ ▶ で「機器設定」を選び、▼▲ で「接続テレビの設定」を選び 決定 を押す

❸ ◀ ▶ で接続するテレビを選ぶ
ノーマル：画面の横：縦比が4：3のテレビ
ワイド　：画面の横：縦比が16：9のテレビ

❹ ワイドを選び 決定 を押す

❺ 戻る を数回押す
テレビ放送画面になります

2 テレビ（地デジ）を消す

1 チューナーの電源を切る（リモコンの チューナー電源 を押す➡ランプが赤色になる）

2 テレビの電源を切る

（注）電源切（待機）状態でも電波を受信し、番組表を更新したり、ソフトウェアダウンロードを行なっている場合がありますので、チューナーの電源コードを本体／コンセントに接続したままでのご使用をおすすめします。

4496-3

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。

DIGITAL

地上デジタルチューナー DIR910

（地上デジタル放送専用）

DXアンテナ製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ず取扱説明書（2枚）をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

主な機能対応	
CATVパススルー	対応
字幕放送	対応
データ放送	非対応
双方向サービス	非対応
電子番組表	対応

電源表示灯

電源表示灯は本機の動作状況によって色が変わります。

表示灯	状態
消灯	電源コードをつないでいない
緑色／点灯	電源が入り、チューナーが動いている
赤色／点灯	電源が切
橙色／点灯	番組表取り込み中
赤色／点滅	情報取得（ソフトウェアダウンロード）中
橙色／点滅	動作開始／終了中

⚠ 故障の原因となりますので、赤色／点滅の動作情報取得（ソフトウェアダウンロード）中は電源コードを本体／コンセントから抜かないでください。

地上デジタル放送をみるための手順

1. 付属品を確認する
2. アンテナを本機に接続する
3. 本機をテレビに接続する
4. B-CAS カードを本機に挿入する
5. リモコンの準備をする
6. 本機とテレビの電源を入れる
7. 受信できるチャンネルを設定する

もう一枚の取扱説明書（準備編）をご覧ください

※保証書はこの取扱説明書に記載しています。

別紙の取扱説明書（準備編）をご覧になり付属品が全て同梱されているかお確かめください

アナログテレビ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送と、BSアナログテレビ放送は2011年7月24日までに終了することが、国の法令によって定められています。

修理サービスについて

- 製品に異常が生じたときには、別紙取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をお読みになり、点検してください。点検を繰り返しても正常に動作しないときは、お買いあげの販売店またはお近くの当社支店、営業所にご相談ください。
- ご転居のときは事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときには、この取扱説明書の裏表紙の営業所をご覧のうえ、お近くの当社支店、営業所へご相談ください。

補修用性能部品について

- このデジタルチューナーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●この製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証期間中の故障は下記の無料修理規定により、当社にて責任をもって修理いたします。ただし、ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷などの場合は保証期間内でも有料修理となります。
●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
●なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または当社のもよりの各支店・営業所にお問い合せください。

保証書に必要事項をご記入ください。

●無料修理規定

1. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店を通じて無料修理いたします。
2. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
   ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
   ②お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
   ③火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、指定以外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷。
   ④故障の原因が本製品以外の部分（例えばテレビ等）、またはその他の機器によって生じた修理、および改良。
   ⑤一般家庭用以外（例えば車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   ⑥本保証書が添付されていない場合。
   ⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買上げ販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. 本保証書は日本国内にのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
4. 期間中の転居、その他の理由により本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合には、最寄りのDX製品取扱店、またはDXアンテナ各支店、営業所へご相談ください。
5. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
6. この保証書によって保証書を発行しているもの（保障責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	B-CASカード番号 （B-CASカードの裏面に表示されています。）	□□□□-□□□□-□□□□-□□□□-□□□□

保　証　書

品番	※お買上年月日	保証期間
DIR910	年　月　日	お買上日より 1年間

※ご販売店	ご住所・ご店名 電話（　　）　－

※お客様	お名前	ふりがな 様
	ご住所	□□□-□□□□　電話（　　）　－

※印欄に記入がない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入が無い場合には、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。

規格特性

本体

項目	規格
入力周波数	90 ～ 770 MHz CATV パススルー対応
入力レベル	34 ~ 89 dBμV
アンテナ入力端子インピーダンス	75 Ω（F型コネクター）
映像出力端子	SD 映像出力　ピンジャック端子1系統
音声出力端子	ステレオＬＲ音声出力　ピンジャック端子 1系統
使用温度範囲	0 ℃ ～ ＋40 ℃
使用湿度範囲	20 % ～ 80 %
電源	AC 100V　50Hz / 60Hz
消費電力/待機電力	3.3W /　0.2W
寸法 幅 × 奥行 × 高さ（mm）	141 × 96 × 38（端子、突起部含まず）
質量	約230g

リモコン

項目	規格
使用電源	DC 3V（単4形 乾電池 2本使用）
操作距離	本体正面距離　7m以内
操作範囲	本体リモコン受信部に対し、 左右方向約 30°以内、上下方向約 20°以内
寸法 幅 × 奥行 × 高さ（mm）	55 × 25 × 150
質量	約80g（電池含まず）

※ 本機の仕様・外観などは改良のため予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。
※ 本機はデータ放送・双方向サービスには対応しておりません。
※ ハイビジョン番組は標準画質で表示されます。
※ 本機は視聴予約機能はありません。

守っていただきたいこと

■国外では使用できません
本機が使用できるのは日本国内のみです。外国では放送形式、電源電圧が異なるため、使用できません。国外で本機を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話・無線機などから離して使用してください
本機の受信周波数帯域（90MHz～770MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話・無線機などの機器を、本機やアンテナ線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じることがあります。これらの機器とは離して使用してください。
AMラジオの近くに置くとラジオに雑音が入ることがあります。AMラジオからできるだけ（約1.5m以上）離してください。

■本機の電源プラグは、常時コンセントに接続してください
海外旅行などで長期間使用しないときや、本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグを常にコンセントに接続しておいてください。本機は電源を切っているとき（待機時）に、自動的に放送局からの情報を受信しています。

■長時間動かない画像を移さないでください
本機に接続されたテレビやプロジェクターに、長時間、動かない画像を映していると、画面に映像が焼きつき、影のように画面に残る恐れがあります。動かない画像を長時間映さないでください。

■直射日光や熱気は避けてください
直射日光が当たる場所や暖房器具など高温となる機器の近くに置かないでください。外装や部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。窓を閉めきった自動車の中など温度が異常に高くなる場所に放置すると、外装が変形したり、故障の原因となることがあります。

■急激な温度変化のある部屋（場所）でのご使用は避けてください
急激な温度変化が起こる部屋（場所）でのご使用は、外装や部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

■低温になる場所には放置しないでください
外装の変形や故障の原因となります。（使用温度：0℃～40℃）

■雨や雪でぬらさないようご注意ください
窓際に設置した場合は、雨や雪などでぬらさないようご注意ください。

■結露した状態でのご使用は避けてください
本機を寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝などに暖房を入れたばかりの部屋などでは、本機の表面や内部が結露する（水滴が付着する）ことがあります。そのままご使用になると故障の原因となりますので、結露した場合は結露がなくなるまで本機の電源プラグをコンセントに接続しないでください。

あらかじめご承知ください

■本機は、BSデジタルチューナーおよび110度CSデジタルチューナーを内蔵しておりません。BSデジタル放送および110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、別途BS・110度CSデジタルチューナーをお買い求めください。
■地上デジタル放送を受信するためには対応したUHFアンテナが必要です。
設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。電器店やアンテナ設置業者等にご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。
■CATVの受信は、サービスが行われている地域でのみ受信が可能です。地上デジタル放送がパススルー方式で送信されている場合は、本機のアンテナ端子に接続して受信することもできます。詳しくはCATV会社にご相談ください。
■マンションなど集合住宅での共同受信の場合、詳しくは管理組合または管理会社等にご確認ください。
■本機は、（社）電波産業会（ARIB）の運用仕様に基づいた仕様となっています。
その仕様に変更があった場合、本機の規格を変更することがあります。
■B-CASカードは、放送を視聴していただくための大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合、再発行費用が必要となります。
破損、故障、紛失した場合は、B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。
■接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
■著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。
また、この機能により、ビデオデッキを介してテレビに出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とテレビを直接接続してお楽しみください。
■お客様がビデオデッキ・DVDレコーダーなどで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することは禁止されております。
■本機の不具合により視聴または録画できなかった場合などの補償については一切応じられませんので、あらかじめご了承ください。
■一般家庭以外（業務用の長時間使用、車両・船舶などへ搭載しての使用など）でご使用されますと故障の原因となることがあります。
■商品の仕様およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。
■取扱説明書のイラスト・画面表示などは説明を目的としているため、実際とは異なる場合があります。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記をご利用ください。

カスタマーセンター TEL.(078)682-0455
受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く）

ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

・札幌支店 TEL.(011)822-1251㈹	・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100㈹	・金沢支店 TEL.(076)261-9988㈹	・高松営業所 TEL.(087)868-1222㈹
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830㈹	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166㈹	・富山営業所 TEL.(076)422-7878㈹	・松山営業所 TEL.(089)925-3826㈹
・東北支店 TEL.(022)243-2141㈹	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341㈹	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651㈹	・福岡支店 TEL.(092)541-0168㈹
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581㈹	・千葉支店 TEL.(043)253-1121㈹	・堺営業所 TEL.(072)278-5311㈹	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556㈹
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131㈹	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141㈹	・京都営業所 TEL.(075)382-6141㈹	・長崎出張所 TEL.(095)842-0780㈹
・東京支店 TEL.(03)3526-5402㈹	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885㈹	・神戸支店 TEL.(078)579-8550㈹	・大分営業所 TEL.(097)504-7799㈹
・東京東出張所 TEL.(03)5654-9881㈹	・中部支店 TEL.(052)919-6531㈹	・姫路営業所 TEL.(079)283-5920㈹	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711㈹
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911㈹	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801㈹	・広島支店 TEL.(082)237-5331㈹	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211㈹
・横浜支店 TEL.(045)651-2557㈹	・豊橋営業所 TEL.(0532)57-2133㈹	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948㈹	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202㈹
・北関東支店 TEL.(048)652-3311㈹	・三重出張所 TEL.(059)226-1643㈹	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343㈹	

DXアンテナ株式会社　（2010年9月現在）

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001（代）　東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL.(03)3526-6327（代）

安全上のご注意　　必ずお読みください

本機を正しく安全にご使用いただくために、
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

警告表示の意味

「取扱説明書」には、本機を正しく安全にご使用いただくためにいろいろな表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載内容をお守りください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負うおそれがある内容を示しています。		注意をする必要がある内容を示しています。（警告を含む）図の中に具体的な注意内容が描かれています。
			禁止の行為を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を与えるおそれがある内容を示しています。		必ずしなければいけない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

⚠ 警告

■ 交流１００ボルト以外の電源電圧で使用しない
火災・感電の原因となります。

■ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

■ 電源コードの上に重いものを載せない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

■ 電源コードをねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

■ 電源コードを加熱したり、熱器具に近づけない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

AC100V

100ボルト以外禁止

禁止

■ 付属の電源コード以外は使用しない
他の機器の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。

禁止

■ 付属の電源コードを他の機器に使用しない
付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

■ 煙が出たり、におい、音などの異常が発生したら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグを抜く
異常状態のままでの使用は火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による修理は絶対におやめください。

電源プラグを抜く

■ 落としたり、破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に連絡してください。

⚠ 警告

■ 本機に異物を入れない
通風孔などから燃えやすいもの、金属類などの異物を入れると、火災や感電の原因となります。

禁止

■ 本機の近く、上に花瓶など水の入ったものをおかない
水が中に入ると、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

■ 内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に連絡してください。

電源プラグを抜く

■ 風呂やシャワー室で使用しない
火災・感電の原因となります。

禁止　風呂、シャワー室での使用禁止

■ 本機を不安定な場所に置かない
落下するなどして、けがの原因となります。

■ 本機を分解したり、改造したりしない
本機の内部にはさわらないでください。
火災・感電の原因となります。
内部の点検・修理は販売店に依頼してください。

分解禁止

■ 電源プラグにホコリや異物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ホコリを取る

■ ぬれた手で電源コード・電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

禁止

■ 電源プラグは確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、発熱したり、ホコリが付着して、火災・感電の原因となります。

確実に差し込む

■ タコ足配線をしない
火災・感電の原因となります。

■ 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源コードには触れない
感電の原因となります。

禁止

■ 電池を乳幼児の手の届く場所におかない
電池を飲み込むと、窒息や障害の原因となります。
万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

接触禁止

■ 電池の液が漏れたときは、素手でさわらない
皮膚の炎症、失明やけがの原因となります。
液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
目に入った場合は、ただちに眼科医に相談してください。

■ 電池の廃棄は地域の規則に従う
使用済みの電池は、地方自治体の条例、または規則に従って処分してください。

イラストはイメージです

安全上のご注意

⚠ 注意

■ 本機を湿気やホコリの多いところ、油煙や湯気などのあたるようなところに置かない
火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ 通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に置かない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。次の点にご注意ください。
・押入れ・書棚・天井裏など風通しの悪い場所に置かない
・じゅうたんや布団の上に置かない
・逆さまにしたり、立てかけたりしない
・テレビ台などに設置する場合、左右・後方に10cm以上、上側に8cm以上の間隔をあける
・ＤＶＤレコーダー、ビデオデッキなど発熱する機器と重ねない

■ 本機の上にものをのせない
通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

■ 本機の上に重いものをのせない
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となったり、本機の破損の原因となることがあります。

■ 本機の上に乗らない
バランスをくずして転倒したり、本機が破損したりして、けがの原因となることがあります。

■ 温室・サンルームのような、高温で湿気の多い場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
電源コードが損傷し、火災・感電の原因となることがあります。必ず、電源プラグを持って抜いてください。

■ 電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない
発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や、電気工事店に交換を依頼してください。

■ お手入れのときは、電源プラグを抜く
感電や火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

■ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
火災の原因となることがあります。

■ 移動させるときは、接続されている線をすべて外す
機器間の接続線を外さずに移動すると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

接続線を外す

■ 電源コードを結んだり、束ねて使用しない
発熱し、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

⚠ 注意

■ リモコンの電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおりに正しく入れる
間違えると電池が破裂したり、液もれしたりして、火災、けがややけど、周囲を汚染する原因となることがあります。

表示通りに入れる

■ リモコンには、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
電池が破裂したり、液もれしたりして、火災、けがややけど、周囲を汚染する原因となることがあります。

禁止

■ 長期間使用しないときはリモコンの電池を取り出す
電池が液もれしたりして、故障・火災・けがややけど、周囲を汚染する原因となることがあります。

厳守

■ アンテナ工事には、技術と経験が必要です
販売店にご相談ください
・アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
・アンテナが倒れて送配電線に触れた場合、感電の原因となる場合があります。
・アンテナは強風の影響を受けやすいため、しっかりと取り付けてください。
・アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検・交換を心がけてください。
・映りが悪くなったときは、販売店、電気工事店に相談してください。

禁止

イラストはイメージです

⚠ B-CAS カード取扱い上のご注意

- 折り曲げたり、傷つけたり、変形させたりしないでください。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 水をかけたり、濡れた手でさわったりしないでください。
- IC（集積回路）部には手を触れないでください。
- 分解、加工を行わないでください。
- ご使用中は抜差ししないでください。視聴できなくなることがあります。
- B-CAS カードを抜く場合は、電源プラグを抜いてから、ゆっくりとB-CAS カードを抜いてください。
- 裏向きや逆方向で B-CAS カードを挿入しないでください。
- 挿入方向を間違えると B-CAS カードは機能しません。

B-CAS カードについては、B-CAS カスタマーセンター（Tel 0570-000-250）にお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

映らない・音がでない	□アンテナを正しく接続する □B-CASカードを正しく入れる □テレビとチューナー両方の電源を入れる □テレビの画面を切り換える （テレビによって「ビデオ1」「入力2」など表示がちがうので、チューナーをつないだ端子の表示にする） □電源を入れたり、テレビ画面を切り換えた直後は、映像表示に時間がかかります。 □チューナーDIR910本体中央のランプが赤色で付いたり消えたりしているときは、そのままでまつ。故障ではなく情報取得（ソフトウェアのダウンロード）中です。電源コードを抜かないでください。途中で抜くと故障の原因になることがあります。
音がでない	□テレビの音の大きさをかえる （テレビの音量ボタン「+」などを押す、消音ボタンを押す）
リモコンで動かない	□テレビ電源/入力切換/音量/消音ボタンを押すときはリモコンをテレビにむける □リモコンをチューナーにむける （テレビ電源/入力切換/音量/消音ボタン以外のボタンを押すとき） □テレビやチューナーに直射日光など強い光を当てない □裏面の「リモコンの準備」を見て、電池を新品にかえる